

「性的自画撮り」の規制強化に向けて

昨年より議会の推薦を頂いて委員をつとめている「栃木県青少年健全育成委員会」において、インターネットを通じて知り合った相手に、少女らが自らの裸などを「自画撮り」して送信させられる被害が相次いでいることから、県青少年健全育成条例を改正し、18歳未満の少女の自画撮りの画像を要求することを禁じることや、罰金を科すなどの条例改正に向けて議論を進めたいとの報告がありました。

本来は国が一律して規制をすべき事案だと思いますが、本県でも早急に環境整備を進め、対策を講じていくことが必要です。議会においても速やかな議決を頂けるよう、委員として働きかけをしていきたいと思ひます。

「とちまる安心通知」

QRコードを読み込んで頂くと、LINEアプリにてすぐに登録ができ、コロナに関する最新の状況や、総合情報、また体調が優れない場合の連絡先などが一目で見られる大変便利なサイトです。是非ともご活用をお願い致します。



左記のQRから栃木県LINE公式アカウント「**栃木県-新型コロナ対策パーソナルサポート**」を友だち登録するとご利用いただけます。



「とちまる安心通知」とは

店舗やイベント会場などに掲示されたQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、利用した店舗等の場所・日時が登録され、後日、同時時間帯に当該店舗等を利用した方に感染が判明した際に、登録いただいた方に濃厚接触の疑いがあるなど、必要時に栃木県から感染拡大防止に向けたお知らせを送信します。



石坂まさる後援会事務所

真岡市荒町2-10-6 谷田部ビル1-2号
TEL:0285-81-7595
FAX:0285-81-7596



ごあいさつ

寒冷の候 皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はまさしく新型コロナに始まり、新型コロナに終わった年となりました。経済や医療はもちろんのこと、通常の社会生活が脅かされるという経験を通じ、「感染症」の脅威を改めて感じるとともに、**コロナ禍において、政治の在り方や政治の立ち位置の難しさを改めて考えさせられる一年**となりました。栃木県においても、感染防止対策と社会経済活動の両立を進めるために、数度に渡り補正予算を編成し、様々な対策を講じて参りましたが、**本県においては2度目となる緊急事態宣言が発令され、まだまだ先行きが不透明です。**今後とも県民の皆様の安心に繋がるよう、引き続き精一杯取り組んで参ります。

また、本年もコロナ禍の中、**経済の停滞や米価を始めとする農産物の価格の下落、また豚熱や鳥インフルエンザなどへの対策、そして急激な気候変動による自然災害等、新型コロナ以外の課題も表面化**しております。そのような課題にもしっかりと対応していきます。**県議会議員として3年目となる本年は、私自身40歳という節目の年**でもあります。「四十にして惑わず」という言葉の通り、政治に携わるものとしての矜持と信念をしっかりと持ち、この国の将来のために更に精進して参りますので、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

栃木県議会議員 石坂 まさる

栃木県12月補正予算について(抜粋)

検査体制の強化への支援

- 発熱患者等に対応する診療・検査体制強化事業費
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費
- 濃厚接触者となった要介護高齢者の受入体制の整備費
- 濃厚接触者となった在宅障害児者受入体制の整備費 等



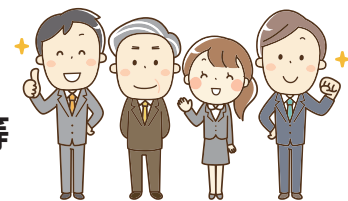
教育機関での感染症対策の支援

- 特別支援学校における新型コロナウイルス感染症のための校舎改修費
- 県立学校感染症対策事業費及び衛生施設改修費
- 学びの保証のためのICT教育環境整備等
- 各種専修学校及び私立学校の感染症対策支援助成費 等



経済活動強化のための支援

- 地域企業感染症対策支援補助金
(補助率 2 / 3、補助限度額300万円/事業者)
- 戦略産業(自動車・航空宇宙・医療福祉機器)における中小企業の
新規事業創出への支援(補助率 2 / 3、補助限度額1,000万円)
- 農業者等支援ICT化事業費
- 「いちご王国」プロモーション事業費
総合サイトの制作や、非接触型のPRシステムの構築 等



2020年12月補正予算について詳しくは右記QRにてご覧ください。



県政トピックス ①

農林環境委員として

一昨年の選挙でも訴えさせて頂きましたが、人口の将来推計が表す通り、ある一定期までは人口が減少することは確実です。それを前提に、持続可能な社会を構築していくことは、早急に進めなくてはならない課題であり、そのための手法として、**各分野において未来技術をどのように活用していくかは非常に重要なテーマ**です。

スマート農業についての視察



農業就業人口はこの半世紀で1 / 7に減少し、面積は3 / 4に減少しています。また、65歳以上の割合が7割を超えるなど、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。その中で農業を産業として維持していくためには、多くの課題があります。が、**圃場の整備等と併せて、省力化しやすい環境整備を進めることは、今後の重要な課題**だと思います。

林業の省力化についての視察



栃木県では「**とちぎの林業イノベーション事業**」を通し、**林業のスマート化**を進めています。未来技術を活用し、労働負担の低減や、森林資源の見える化を進め、新規林業従事者の定着率の向上や、生産管理を効率化することで、**持続可能な林業の構築を進めていきます**。

自民党政調会の活動

新型コロナウイルス緊急要望書を提出



8月7日に9月補正予算についての要望書を知事に提出し、その後記者会見に臨みました。PCR検査とインフルエンザワクチンを安定的に供給するための予算や、感染症の認定看護師の方々の知識を活用するための予算要望を行い、9月補正予算において予算化されました。